

大学番号 私立270

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**届出**

広島女学院大学 人文学部 日本文化学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人広島女学院  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務課（企画秘書）
職名・氏名	カチョウダイリ アベキョウコ 課長代理・阿部享子
電話番号	082-228-0546
（夜間）	082-228-0546
e-mail	kaiso@gaines.hju.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人文学部

<日本文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人広島女学院

## (2) 大学名

広島女学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒732-0063

広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカガワ ヒデオ) 中川 日出男 (平成27年6月)		
学長	(ミナト アキコ) 湊 晶子 (平成26年4月)	(ミタニ タカヤス) 三谷 高康 (令和3年4月)	任期満了のため変更 令和3年4月1日(3)
学部長	(ワタナベ ユカリ) 渡邊 ゆかり (平成30年4月)		
学科長	(アダチ ナオコ) 足立 直子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 日本文化学科 学士（文学）	文学関係	4年	40人	— 年次人	160人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	—	—	40	—	40	—	40	—	40	—	1.20倍	—	
志願者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)			
受験者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)			
合格者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)			
B 入学者数	(—)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)	(0)	(—)			
入学定員超過率 B/A	—	—	1.15	—	1.22	—	1.27	—	1.17	—			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			46 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	49 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	51 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	47 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )			
2年次					45 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	47 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	51 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )			
3年次							43 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	47 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )			
4年次									42 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )			
計	- [ - ] ( - )		46 [ 2 ] ( - )		94 [ 3 ] ( - )		141 [ 10 ] ( - )		187 [ 13 ] ( - )				

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	- 人	- 人	平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	46 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和元年度	94 人	4 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	2 人	0 人	心神耗弱(1人)、就学意欲の低下(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	進路変更(他大学1人)、就学意欲の低下(1人)
令和2年度	141 人	1 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	187 人	0 人	平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		6 人		6 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{46} = \boxed{2.17} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{94} = \boxed{4.25} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{141} = \boxed{0.7} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{187} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 日本文化学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			4	1				
	日本語表現技法	1前	2								1
	情報リテラシーⅠ	1前	2								2
	情報リテラシーⅡ	1後	2								2
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								1
	基礎英語Ⅲ	2前	1								2
	基礎英語Ⅳ	2後	1								1
	基礎日本語Ⅰ	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)		-	16	4	0	4	1	0	0	0	9
必修	キャリアプランニング	1前	2			1					1
	女性とライフキャリア	2前	2				1				3
自己との関係科目群	女性史	1前		2							3
	女性とライフスタイル	1後		2							7
	Women in Christianity	1後		2							1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前		2			1				
	キリスト教と女性	2後		2							1
	Women & the World Ⅰ	2後		2							1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前		2							3
	キリスト教と教育	1前		2							1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後		2							1
	暮らしを営む食と健康	2前		2							4
	子育てとライフキャリア	2後		2							1
社会との関係科目群	World Literature Ⅰ	1前		2							1
	キリスト教と社会	1後		2							1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後		2							1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前		2							1
	ヒロシマと平和	2前		2							1
	ボランティア活動	2前		2							4
	インターンシップ	2前		2							2
	Human Rights in the World	2後		2							1
	Culture Studies Ⅰ	2後		2							1
その他科目群	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前		2							1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ	1後		2							1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前		2							1
	ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後		2							1
	オープンセミナーⅠ	1前		1		4	1				
	オープンセミナーⅡ	1前		2		4	1				
	スポーツ科学Ⅰ	1前		1							2
	スポーツ科学Ⅱ	1後		1							2
	日本国憲法	1後		2							1
	外国語(英語Ⅰ)	1前		1							5
	外国語(英語Ⅱ)	1後		1							5
	外国語(英語Ⅲ)	2前		1							3
	外国語(英語Ⅳ)	2後		1							3
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前		1		1					
	外国語(日本語Ⅱ)	1後		1		1					
	外国語(日本語Ⅲ)	2前		1							1
	外国語(日本語Ⅳ)	2後		1							1
	小計(45科目)		-	4	69	0	4	1	0	0	0

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			4	1				
	日本語表現技法	1前	2								3
	情報リテラシーⅠ	1前	2								3
	情報リテラシーⅡ	1後	2								3
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								2
	基礎英語Ⅲ	2前	1								3
	基礎英語Ⅳ	2後	1								3
	基礎日本語Ⅰ(未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)		-	16	4	0	4	1	0	0	0	12
必修	キャリアプランニング	1前	2			1					1
	女性とライフキャリア	2前	2				1				6
自己との関係科目群	女性史	1前		2							2
	女性とライフスタイル	1後		2							7
	Women in Christianity	1後		2							1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前		2			1				
	キリスト教と女性	2後		2							1
	Women & the World Ⅰ	2後		2							1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前		2							3
	キリスト教と教育	1前		2							1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後		2							1
	暮らしを営む食と健康	2前		2							4
	子育てとライフキャリア	2後		2							1
社会との関係科目群	World Literature Ⅰ	1前		2							1
	キリスト教と社会	1後		2							1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後		2							1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前		2							1
	ヒロシマと平和	2前		2							1
	ボランティア活動	2前		2							4
	インターンシップ	2前		2							2
	Human Rights in the World	2後		2							1
	Culture Studies Ⅰ	2後		2							1
その他科目群	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前		2							1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ	1後		2							1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前		2							1
	ライフキャリア特別セミナーⅡ	1後		2							1
	オープンセミナーⅠ	1前		1		4	1				
	オープンセミナーⅡ	1前		2		4	1				
	スポーツ科学Ⅰ	1前		1							2
	スポーツ科学Ⅱ	1後		1							2
	日本国憲法	1後		2							1
	外国語(英語Ⅰ)	1前		1							2
	外国語(英語Ⅱ)	1後		1							2
	外国語(英語Ⅲ)	2前		1							1
	外国語(英語Ⅳ)	2後		1							1
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前		1							1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後		1							1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前		1			1				
	外国語(日本語Ⅱ)	1後		1			1				
	外国語(日本語Ⅲ)	2前		1							1
	外国語(日本語Ⅳ)	2後		1							1
	小計(45科目)		-	4	69	0	4	1	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
コア 科目	人文学入門	1前	2			2					2
	キャリア・スタディ・プログラムⅠ	1後	2			1	1				
	キャリア・スタディ・プログラムⅡ	2前	2			1					
	キャリア・スタディ・プログラムⅢ	2後	2			1					
	アカデミック・リサーチⅠ	3前	2			4	1				
	アカデミック・リサーチⅡ	3後	2			4	1				
	アカデミック・リサーチⅢ	4前	2			4	1				
	アカデミック・リサーチⅣ	4後	2			4	1				
卒業論文	4後	4			4	1					
スキル 科目	日本文学講読Ⅰ	1前	2								1
	日本文学講読Ⅱ	1前	2				1				
	日本文学講読Ⅲ	1後	2			1					
	日本文学講読Ⅳ	1後	2								1
	日本語文章読解法	1後	2			1					
	日本を伝える英語Ⅰ	2前	2								1
	日本を伝える英語Ⅱ	2後	2								1
	日本語文章表現法	3前	2			1					1
	日本語コミュニケーション技法Ⅰ	1後	2								1
	日本語コミュニケーション技法Ⅱ	2前	2								1
	メディアリテラシー	2前	2			1					
文芸創作	2後	2								1	
映画・演劇研究	3前	2								1	
専門 科目	古典日本語基礎文法	2前	2			1					
	現代日本語基礎文法	2後	2			1					
	日本文学概論Ⅰ	2前	2			1					
	日本文学概論Ⅱ	2後	2				1				
	日本語学概論Ⅰ(音声言語を含む)	2前	2			1					
	日本語学概論Ⅱ(音声言語を含む)	2後	2			1					
	日本語音声学	2前	2								1
	日本古典文学史	2後	2			1					
	日本近現代文学史	2前	2				1				
	社会言語学Ⅰ	2前	2								1
	社会言語学Ⅱ	2前	2								1
	言語の獲得	2前	2								1
	日本語の文字と語彙	1後	2			1					
	言語とコミュニケーション	2後	2								1
	児童文学	3後	2				1				
	女性文学の世界Ⅱ(古典編)	3前	2			1					
	日本文化研究Ⅰ	3前	2			1					
	日本文化研究Ⅱ	3後	2			1					
	日本文化史Ⅰ	2前	2								1
	日本文化史Ⅱ	2後	2								1
	漢文学概論Ⅰ	2前	2								1
	漢文学概論Ⅱ	2後	2								1
	書道Ⅰ	4前	2			1					1
	書道Ⅱ	4後	2			1					1
	国語科教育入門	1後	2			1					
	国語教材研究Ⅰ(古文・漢文・現代文)	3前	2								1
	国語教材研究Ⅱ(日本語文法・日本語の語彙・日本語の表記)	3後	2								1
	国語科授業実践研究Ⅰ(カリキュラム論・授業論・授業観察)	2前	2			1					
	国語科授業実践研究Ⅱ(国語科音声指導法、国語科文章指導法)	2後	2			1					
	中学校国語研究(教科書分析)	3前	2								1
高等学校国語研究(教科書分析)	3後	2								1	
国語科教育法Ⅰ	3前	2			1						
国語科教育法Ⅱ	3後	2			1						
国語科教育法Ⅲ	3前	2			1						
国語科教育法Ⅳ	3後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コア 科目	人文学入門	1前	2			2						1
	キャリア・スタディ・プログラムⅠ	1後	2			1	1					
	キャリア・スタディ・プログラムⅡ	2前	2			1						
	キャリア・スタディ・プログラムⅢ	2後	2			1						
	アカデミック・リサーチⅠ	3前	2			4	1					
	アカデミック・リサーチⅡ	3後	2			4	1					
	アカデミック・リサーチⅢ	4前	2			4	1					
	アカデミック・リサーチⅣ	4後	2			4	1					
卒業論文	4後	4			4	1						
スキル 科目	日本文学講読Ⅰ	1前	2									1
	日本文学講読Ⅱ	1前	2						1			
	日本文学講読Ⅲ	1後	2						1			
	日本文学講読Ⅳ	1後	2									1
	日本語文章読解法	1後	2			1						
	日本を伝える英語Ⅰ	2前	2									2
	日本を伝える英語Ⅱ	2後	2									2
	日本語文章表現法	3前	2			1						1
	日本語コミュニケーション技法Ⅰ	1後	2									1
	日本語コミュニケーション技法Ⅱ	2前	2									1
	メディアリテラシー	2前	2						1			
文芸創作	2後	2									1	
映画・演劇研究	3前	2									1	
専門 科目	古典日本語基礎文法	2前	2			1						
	現代日本語基礎文法	2後	2			1						
	日本文学概論Ⅰ	2前	2			1						
	日本文学概論Ⅱ	2後	2						1			
	日本語学概論Ⅰ(音声言語を含む)	2前	2			1						
	日本語学概論Ⅱ(音声言語を含む)	2後	2			1						
	日本語音声学	2前	2									1
	日本古典文学史	2後	2			1						
	日本近現代文学史	2前	2						1			
	社会言語学Ⅰ	2前	2									1
	社会言語学Ⅱ	2前	2									1
	言語の獲得	2前	2									1
	日本語の文字と語彙	1後	2			1						
	言語とコミュニケーション	2後	2									1
	児童文学	3後	2									1
	女性文学の世界Ⅱ(古典編)	3前	2			1						
	日本文化研究Ⅰ	3前	2			1						
	日本文化研究Ⅱ	3後	2			1						
	日本文化史Ⅰ	2前	2									1
	日本文化史Ⅱ	2後	2									1
	漢文学概論Ⅰ	2前	2									1
	漢文学概論Ⅱ	2後	2									1
	書道Ⅰ	4前	2			1						1
	書道Ⅱ	4後	2			1						1
	国語科教育入門	1後	2			1						
	国語教材研究Ⅰ(古文・漢文・現代文)	3前	2									1
	国語教材研究Ⅱ(日本語文法・日本語の語彙・日本語の表記)	3後	2									1
	国語科授業実践研究Ⅰ(カリキュラム論・授業論・授業観察)	2前	2			1						
	国語科授業実践研究Ⅱ(国語科音声指導法、国語科文章指導法)	2後	2			1						
	中学校国語研究(教科書分析)	3前	2									1
高等学校国語研究(教科書分析)	3後	2									1	
国語科教育法Ⅰ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅱ	3後	2			1							
国語科教育法Ⅲ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅳ	3後	2			1							



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	展開科目	比較言語学	2後	2							1	
		比較文化学 I	2前	2							1	
		比較文化学 II	2後	2							1	
		日本語教育概論	2前	2							1	
		マンガ・アニメーション研究	2前	2							1	
		都市と文化財	1後	2							1	
		地域と歴史	2後	2							1	
		写真映像論	2前	2							1	
		多文化共生社会論	1後	2							1	
		国際関係論	2前	2							1	
		文化人類学	2後	2							1	
		Global Village Field Experience I	1前	2							1	
		Global Village Field Experience II	1後	2							1	
		インディペンデント・スタディ	3前	2		4	1					7
		海外研修 I	2前	4								1
		海外研修 II	2後	4								1
		海外研修 III	3前	2		1						
		日本語フィールドワーク I (日本語の方言)	2前	2		1						
		日本語フィールドワーク II (郷土資料調査)	2後	2		1						
日本文化フィールドワーク	2前	2			1							
地域連携文化セミナー I	3前	2								3		
地域連携文化セミナー II	3後	2			2	1						
小計(79科目)	-	54	110	0	4	1	0	0	0	27		
関連科目 I	教職	教育原理	2後	2							1	
		教育心理学	2前	2							1	
		教育社会学	3前	2							1	
		教職実践演習(中・高)	4後	2							4	
		教育史	3後	2							1	
		学習心理学	3前	2							1	
		教育と法	3後	2							1	
	学芸員	観光学	2前	2							1	
		市民社会とNGO・NPO	2前	2							1	
		世界遺産学	2前	2							4	
		西洋服装史	1前	2							1	
		日本服装史	1後	2							1	
		生活造形論(工芸とデザイン)	1後	2							1	
司書・司書教諭	日本建築史(含住居史)	2前	2							1		
	西洋建築史	1後	2							1		
	感性デザイン論 I (ポップカルチャー)	1・2前	2							1		
感性デザイン論 II (ファッション文化史)	1・2後	2							1			
服飾美学	2・3後	2							1			
情報メディアの活用	2前	2							1			
図書館情報技術論	2後	2							1			
情報サービス論	3前	2							1			
小計(21科目)	-	0	42	0	0	0	0	0	0	20		
関連科目 II	日本語教育	日本語教授法 I	2後		2	1						
		日本語教授法 II	3前		2	1						
		日本語教授法 III	3後		2	1						
	教職	教職論	1後		2						2	
		教育課程論	2前		2						1	
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2前		2						1	
		生徒・進路指導論(進路指導の理論及び方法を含む)	3前		2						1	
		特別活動論	3後		2						1	
		学校カウンセリング	3前		2						1	
		道徳教育指導論	3後		2						1	
		介護等体験 I	3通		1						3	
		介護等体験 II (事前・事後指導)	3通		1						3	
		教育実習 I	4通		2						3	
		教育実習 II	4通		2						4	
教育実習 III (事前・事後指導)	4通		1						4			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	展開科目	比較言語学	2後	2							1	
		比較文化学 I	2前	2							1	
		比較文化学 II	2後	2							1	
		日本語教育概論	2前	2							1	
		マンガ・アニメーション研究	2前	2							1	
		都市と文化財	1後	2							1	
		地域と歴史	2後	2							1	
		写真映像論	2前	2							1	
		多文化共生社会論	1後	2							1	
		国際関係論	2前	2							1	
		文化人類学	2後	2							1	
		Global Village Field Experience I	1前	2							1	
		Global Village Field Experience II	1後	2							1	
		インディペンデント・スタディ	3前	2		4	1					4
		海外研修 I	2前	4								1
		海外研修 II	2前	4								1
		海外研修 III	3前	2		1						
		日本語フィールドワーク I (日本語の方言)	2前	2		1						
		日本語フィールドワーク II (郷土資料調査)	2後	2		1						
日本文化フィールドワーク	2前	2			1							
地域連携文化セミナー I	3前	2								1		
地域連携文化セミナー II	3後	2			2	1						
小計(79科目)	-	54	110	0	4	1	0	0	0	25		
関連科目 I	教職	教育原理	2後	2							1	
		教育心理学	2前	2							1	
		中等特別支援教育	2後	1							1	
		教育社会学	3前	2							1	
		教職実践演習(中・高)	4後	2							2	
		教育史	3後	2							1	
		学習心理学	3前	2							1	
	教育と法	3後	2							1		
	学芸員	観光学	2前	2							1	
		市民社会とNGO・NPO	2前	2							1	
		世界遺産学	2前	2							4	
		西洋服装史	1前	2							1	
		日本服装史	1後	2							1	
生活造形論(工芸とデザイン)		1後	2							1		
司書・司書教諭	日本建築史(含住居史)	2前	2							1		
	西洋建築史	1後	2							1		
	感性デザイン論 I (ポップカルチャー)	1・2前	2							1		
感性デザイン論 II (ファッション文化史)	1・2後	2							1			
服飾美学	2・3後	2							1			
情報メディアの活用	2前	2							1			
図書館情報技術論	2後	2							1			
情報サービス論	3前	2							1			
小計(22科目)	-	0	43	0	0	0	0	0	0	21		
関連科目 II	日本語教育	日本語教授法 I	2後		2	1						
		日本語教授法 II	3前		2	1						
		日本語教授法 III	3後		2	1						
	教職	教職論	1後		2						2	
		教育課程論	2前		2						2	
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2前		2						1	
		生徒・進路指導論(進路指導の理論及び方法を含む)	3前		2						1	
		特別活動論	3後		2						1	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後		2						1	
		学校カウンセリング	3前		2						1	
		教育相談の理論と方法	3前		2						1	
		道徳教育指導論	3後		2						1	
		介護等体験 I	3通		1						2	
		介護等体験 II (事前・事後指導)	3通		1						2	
教育実習 I	4通		2						2			
教育実習 II	4通		2						3			
教育実習 III (事前・事後指導)	4通		1						3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学芸員	博物館教育論	1後			2						1	
	博物館概論	2前			2						1	
	博物館経営論	2後			2						1	
	博物館資料論	2前			2						1	
	博物館情報・メディア論	2前			2						1	
	博物館資料保存論	2後			2						1	
	博物館展示論	2後			2						2	
	博物館実習Ⅰ	4前			1						3	
	博物館実習Ⅱ	4通			2						1	
	博物館実習Ⅲ	4後			1						1	
	関連科目Ⅱ	生涯学習論Ⅰ	2前			2						1
		図書館概論	1後			2						1
		図書館制度・経営論	3前			2						1
		図書館サービス概論	2前			2						1
		情報サービス演習Ⅰ	3前			1						1
		情報サービス演習Ⅱ	3後			1						1
		図書館情報資源概論	2後			2						1
		情報資源組織論	2前			2						1
		情報資源組織演習Ⅰ	2前			1						1
		情報資源組織演習Ⅱ	2後			1						1
		児童サービス論	2前			2						1
		図書・図書館史	3後			1						1
図書館サービス特論		3後			1						1	
図書館基礎特論		3前			1						1	
図書館情報資源特論		3前			1						1	
読書と豊かな人間性		2後			2						1	
学校経営と学校図書館		2前			2						1	
学校図書館メディアの構成		2前			2						1	
学習指導と学校図書館	2後			2						1		
小計(44科目)	-	0	0	75	1	0	0	0	0	0	28	
合計(203科目)	-	74	225	75	4	1	0	0	0	0	87	

卒業要件及び履修方法

基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修し、専門科目の中から、必修科目を34単位、選択必修科目を18単位、コア科目(計20単位)を必修科目として、残り20単位を専門科目、関連科目Ⅰから選択科目として履修し、合計124単位以上を修得すること。  
卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学芸員	博物館教育論	1後			2						1	
	博物館概論	2前			2						1	
	博物館経営論	2後			2						1	
	博物館資料論	2前			2						2	
	博物館情報・メディア論	2前			2						1	
	博物館資料保存論	2後			2						1	
	博物館展示論	2後			2						2	
	博物館実習Ⅰ	4前			1						3	
	博物館実習Ⅱ	4通			2						1	
	博物館実習Ⅲ	4後			1						1	
	関連科目Ⅱ	生涯学習論Ⅰ	2前			2						1
		図書館概論	1後			2						1
		図書館制度・経営論	3前			2						1
		図書館サービス概論	2前			2						1
		情報サービス演習Ⅰ	3前			1						1
		情報サービス演習Ⅱ	3後			1						1
		図書館情報資源概論	2後			2						1
		情報資源組織論	2前			2						1
		情報資源組織演習Ⅰ	2前			1						1
		情報資源組織演習Ⅱ	2後			1						1
		児童サービス論	2前			2						1
		図書・図書館史	3後			1						1
図書館サービス特論		3後			1						1	
図書館基礎特論		3前			1						1	
図書館情報資源特論		3前			1						1	
読書と豊かな人間性		2後			2						1	
学校経営と学校図書館		2前			2						1	
学校図書館メディアの構成		2前			2						1	
学習指導と学校図書館	2後			2						1		
小計(46科目)	-	0	0	79	1	0	0	0	0	0	23	
合計(206科目)	-	74	226	79	4	1	0	0	0	0	90	

卒業要件及び履修方法

基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修し、専門科目の中から、必修科目を34単位、選択必修科目を18単位、コア科目(計20単位)を必修科目として、残り20単位を専門科目、関連科目Ⅰから選択科目として履修し、合計124単位以上を修得すること。  
卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			4	1				
	日本語表現技法	1前	2								1
	情報リテラシーⅠ	1前	2								3
	情報リテラシーⅡ	1後	2								3
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								2
	基礎英語Ⅲ	2前	1								2
	基礎英語Ⅳ	2後	1								1
	基礎日本語Ⅰ (未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ (未開講)	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ	2後		1							1
小計(14科目)	-		16	4	0	4	1	0	0	0	8
必修	キャリアプランニング	1前	2			1					1
	女性とライフキャリア	2前	2				1				3
自己との関係科目群	女性史	1前	2								3
	女性とライフスタイル	1後	2								7
	Women in Christianity	1後	2								1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前	2			1					
	キリスト教と女性	2後	2								1
	Women & the World Ⅰ	2後	2								1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前	2								3
	キリスト教と教育	1前	2								1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後	2								1
	暮らしを営む食と健康	2前	2								4
	子育てとライフキャリア	2後	2								1
社会との関係科目群	World Literature Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教と社会	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前	2								1
	ヒロシマと平和	2前	2								1
	ボランティア活動	2前	2								4
	インターンシップ	2前	2								2
	Human Rights in the World	2後	2								1
Culture Studies Ⅰ	2後	2								1	
ライフキャリア科目	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前	2								1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ (未開講)	1後	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ (未開講)	1前	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅡ (未開講)	1後	2								1
	オープンセミナーⅠ	1前	1			4	1				
	オープンセミナーⅡ (未開講)	1前	2			4	1				
	スポーツ科学Ⅰ	1前	1								2
	スポーツ科学Ⅱ	1後	1								2
	日本国憲法	1後	2								1
	外国語(英語Ⅰ)	1前	1								3
	外国語(英語Ⅱ)	1後	1								3
	外国語(英語Ⅲ)	2前	1								3
	外国語(英語Ⅳ)	2後	1								3
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前	1			1					
外国語(日本語Ⅱ)	1後	1			1						
外国語(日本語Ⅲ)	2前	1								1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後	1								1	
小計(45科目)	-		4	69	0	4	1	0	0	0	41

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2								1
	初年次セミナー	1前	2			4	1				
	日本語表現技法	1前	2								1
	情報リテラシーⅠ	1前	2								3
	情報リテラシーⅡ	1後	2								3
	基礎英語Ⅰ	1前	1								2
	基礎英語Ⅱ	1後	1								2
	基礎英語Ⅲ	2前	1								2
	基礎英語Ⅳ	2後	1								2
	基礎日本語Ⅰ (未開講)	1前		1							1
	基礎日本語Ⅱ (未開講)	1後		1							1
	基礎日本語Ⅲ (未開講)	2前		1							1
	基礎日本語Ⅳ (未開講)	2後		1							1
小計(14科目)	-		16	4	0	4	1	0	0	0	8
必修	キャリアプランニング	1前	2			1					1
	女性とライフキャリア	2前	2				1				6
自己との関係科目群	女性史	1前	2								3
	女性とライフスタイル	1後	2								7
	Women in Christianity	1後	2								1
	女性文学の世界Ⅰ(近現代編)	2前	2			1					
	キリスト教と女性	2後	2								1
	Women & the World Ⅰ	2後	2								1
他者との関係科目群	対人関係の心理	1前	2								3
	キリスト教と教育	1前	2								1
	Intercultural Communication Ⅰ	1後	2								1
	暮らしを営む食と健康	2前	2								4
	子育てとライフキャリア	2後	2								1
社会との関係科目群	World Literature Ⅰ	1前	2								1
	キリスト教と社会	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅰ	1後	2								1
	ビジネス実務総論Ⅱ	2前	2								1
	ヒロシマと平和	2前	2								1
	ボランティア活動	2前	2								4
	インターンシップ	2前	2								2
	Human Rights in the World	2後	2								1
Culture Studies Ⅰ	2後	2								1	
ライフキャリア科目	ライフキャリア特別講義Ⅰ (未開講)	1前	2								1
	ライフキャリア特別講義Ⅱ (未開講)	1後	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅠ (未開講)	1前	2								1
	ライフキャリア特別セミナーⅡ (未開講)	1後	2								1
	オープンセミナーⅠ	1前	1			4	1				
	オープンセミナーⅡ (未開講)	1前	2			4	1				
	スポーツ科学Ⅰ	1前	1								2
	スポーツ科学Ⅱ	1後	1								3
	日本国憲法	1後	2								1
	外国語(英語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(英語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(英語Ⅲ)	2前	1								2
	外国語(英語Ⅳ)	2後	1								2
	外国語(フランス語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(フランス語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(韓国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(韓国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(中国語Ⅰ)	1前	1								1
	外国語(中国語Ⅱ)	1後	1								1
	外国語(日本語Ⅰ)	1前	1					1			
外国語(日本語Ⅱ)	1後	1					1				
外国語(日本語Ⅲ)	2前	1								1	
外国語(日本語Ⅳ)	2後	1								1	
小計(45科目)	-		4	69	0	4	1	0	0	0	37

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	コア科目	人文学入門	1前	2			2					2
		キャリア・スタディ・プログラムⅠ	1後	2			1	1				
		キャリア・スタディ・プログラムⅡ	2前	2			1					
		キャリア・スタディ・プログラムⅢ	2後	2			1					
		アカデミック・リサーチⅠ	3前	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅡ	3後	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅢ	4前	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅣ	4後	2			4	1				
	卒業論文	4後	4			4	1					
	スキル科目	日本文学講読Ⅰ	1前	2								1
		日本文学講読Ⅱ	1前	2				1				
		日本文学講読Ⅲ	1後	2			1					1
		日本文学講読Ⅳ	1後	2								1
		日本語文章読解法	1後	2			1					
		日本を伝える英語Ⅰ	2前	2								2
		日本を伝える英語Ⅱ	2後	2								2
		日本語文章表現法	3前	2			1					1
		日本語コミュニケーション技法Ⅰ	1後	2								1
		日本語コミュニケーション技法Ⅱ	2前	2								1
	メディアリテラシー	2前	2			1						
	文芸創作	2後	2			1						
	映画・演劇研究	3前	2								1	
	内容科目	古典日本語基礎文法	2前	2			1					
		現代日本語基礎文法	2後	2			1					
		日本文学概論Ⅰ	2前	2			1					
		日本文学概論Ⅱ	2後	2				1				
日本語学概論Ⅰ(音声言語を含む)		2前	2			1						
日本語学概論Ⅱ(音声言語を含む)		2後	2			1						
日本語音声学		2前	2								1	
日本古典文学史		2後	2			1						
日本近現代文学史		2前	2				1					
社会言語学Ⅰ		2前	2								1	
社会言語学Ⅱ		2前	2								1	
言語の獲得		2前	2								1	
日本語の文字と語彙		1後	2			1						
言語とコミュニケーション		2後	2								1	
児童文学		3後	2				1					
女性文学の世界Ⅱ(古典編)		3前	2			1						
日本文化研究Ⅰ		3前	2			1						
日本文化研究Ⅱ		3後	2			1						
日本文化史Ⅰ		2前	2								1	
日本文化史Ⅱ		2後	2								1	
漢文学概論Ⅰ		2前	2								1	
漢文学概論Ⅱ		2後	2								1	
書道Ⅰ		4前	2			1					1	
書道Ⅱ		4後	2			1					1	
国語科教育入門		1後	2			1						
国語教材研究Ⅰ(古文・漢文・現代文)		3前	2								1	
国語教材研究Ⅱ(日本語文法・日本語の語彙・日本語の表記)	3後	2								1		
国語科授業実践研究Ⅰ(カリキュラム論・授業論・授業観察)	2前	2			1							
国語科授業実践研究Ⅱ(国語科音声指導法、国語科文章指導法)	2後	2			1							
中学校国語研究(教科書分析)	3前	2								1		
高等学校国語研究(教科書分析)	3後	2								1		
国語科教育法Ⅰ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅱ	3後	2			1							
国語科教育法Ⅲ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅳ	3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	コア科目	人文学入門	1前	2			2					2
		キャリア・スタディ・プログラムⅠ	1後	2			1	1				
		キャリア・スタディ・プログラムⅡ	2前	2			1					
		キャリア・スタディ・プログラムⅢ	2後	2			1					
		アカデミック・リサーチⅠ	3前	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅡ	3後	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅢ	4前	2			4	1				
		アカデミック・リサーチⅣ	4後	2			4	1				
	卒業論文	4後	4			4	1					
	スキル科目	日本文学講読Ⅰ	1前	2								1
		日本文学講読Ⅱ	1前	2				1				
		日本文学講読Ⅲ	1後	2			1					1
		日本文学講読Ⅳ	1後	2								1
		日本語文章読解法	1後	2			1					
		日本を伝える英語Ⅰ	2前	2								2
		日本を伝える英語Ⅱ	2後	2								2
		日本語文章表現法	3前	2			1					1
		日本語コミュニケーション技法Ⅰ	1後	2								1
		日本語コミュニケーション技法Ⅱ(未開講)	2前	2								1
	メディアリテラシー	2前	2			1						
	文芸創作	2後	2			1						
	映画・演劇研究	3前	2								1	
	内容科目	古典日本語基礎文法	2前	2			1					
		現代日本語基礎文法	2後	2			1					
		日本文学概論Ⅰ	2前	2			1					
		日本文学概論Ⅱ	2後	2				1				
日本語学概論Ⅰ(音声言語を含む)		2前	2			1						
日本語学概論Ⅱ(音声言語を含む)		2後	2			1						
日本語音声学		2前	2								1	
日本古典文学史		2後	2			1						
日本近現代文学史		2前	2				1					
社会言語学Ⅰ		2前	2								1	
社会言語学Ⅱ(未開講)		2前	2								1	
言語の獲得		2前	2								1	
日本語の文字と語彙		1後	2			1						
言語とコミュニケーション		2後	2								1	
児童文学		3後	2				1					
女性文学の世界Ⅱ(古典編)		3前	2			1						
日本文化研究Ⅰ		3前	2			1						
日本文化研究Ⅱ		3後	2			1						
日本文化史Ⅰ		2前	2								1	
日本文化史Ⅱ		2後	2								1	
漢文学概論Ⅰ		2前	2								1	
漢文学概論Ⅱ		2後	2								1	
書道Ⅰ		4前	2			1					1	
書道Ⅱ		4後	2			1					1	
国語科教育入門		1後	2			1						
国語教材研究Ⅰ(古文・漢文・現代文)		3前	2								1	
国語教材研究Ⅱ(日本語文法・日本語の語彙・日本語の表記)	3後	2								1		
国語科授業実践研究Ⅰ(カリキュラム論・授業論・授業観察)	2前	2			1							
国語科授業実践研究Ⅱ(国語科音声指導法、国語科文章指導法)	2後	2			1							
中学校国語研究(教科書分析)	3前	2								1		
高等学校国語研究(教科書分析)	3後	2								1		
国語科教育法Ⅰ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅱ	3後	2			1							
国語科教育法Ⅲ	3前	2			1							
国語科教育法Ⅳ	3後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	展開科目	比較言語学	2後	2							1
		比較文化学 I	2前	2							1
		比較文化学 II	2後	2							1
		日本語教育概論	2前	2							1
		マンガ・アニメーション研究	2前	2							1
		都市と文化財	1後	2							1
		地域と歴史	2後	2							1
		写真映像論	2前	2							1
		多文化共生社会論	1後	2							1
		国際関係論	2前	2							1
		文化人類学	2後	2							1
		Global Village Field Experience I	1前	2							1
		Global Village Field Experience II	1後	2							1
		インディペンデント・スタディ	3前	2		4	1				7
		海外研修 I	2前	4							1
		海外研修 II	2前	4							1
		海外研修 III	3前	2		1					
		日本語フィールドワーク I (日本語の方言)	2前	2		1					
		日本語フィールドワーク II (郷土資料調査)	2後	2		1					
		日本文化フィールドワーク	2前	2			1				
地域連携文化セミナー I	3前	2							3		
地域連携文化セミナー II	3後	2			2	1					
小計(79科目)	-	54	110	0	4	1	0	0	0	27	
関連科目 I	教職	教育原理	2後	2							1
		教育心理学	2前	2							1
		教育社会学	3前	2							1
		教職実践演習(中・高)	4後	2							4
		教育史	3後	2							1
		学習心理学	3前	2							1
		教育と法	3後	2							1
		学芸員	観光学	2前	2						
	市民社会とNGO・NPO		2前	2							1
	世界遺産学		2前	2							4
	西洋服装史(未開講)		1前	2							1
	日本服装史	1後	2							1	
生活造形論(工芸とデザイン)	1後	2							1		
日本建築史(含住居史)	2前	2							1		
西洋建築史	1後	2							1		
感性デザイン論 I (ポップカルチャー)(未開講)	1・2前	2							1		
感性デザイン論 II (ファッション文化史)	1・2後	2							1		
服飾美学	2・3後	2							1		
司書・司書教諭	情報メディアの活用	2前	2							1	
	図書館情報技術論	2後	2							1	
	情報サービス論	3前	2							1	
小計(21科目)	-	0	42	0	0	0	0	0	0	20	
関連科目 II	日本語教育	日本語教授法 I	2後		2	1					
		日本語教授法 II	3前		2	1					
		日本語教授法 III	3後		2	1					
	教職	教職論	1後		2						2
		教育課程論	2前		2						1
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2前		2						1
		生徒・進路指導論(進路指導の理論及び方法を含む)	3前		2						1
		特別活動論	3後		2						1
		学校カウンセリング	3前		2						1
		道徳教育指導論	3後		2						1
		介護等体験 I	3通		1						3
		介護等体験 II (事前・事後指導)	3通		1						3
		教育実習 I	4通		2						3
教育実習 II	4通		2						4		
教育実習 III (事前・事後指導)	4通		1						4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	展開科目	比較言語学	2後	2							1
		比較文化学 I	2前	2							1
		比較文化学 II	2後	2							1
		日本語教育概論	2前	2							1
		マンガ・アニメーション研究	2前	2							1
		都市と文化財	1後	2							1
		地域と歴史	2後	2							1
		写真映像論	2前	2							1
		多文化共生社会論	1後	2							1
		国際関係論	2前	2							1
		文化人類学	2後	2							1
		Global Village Field Experience I	1前	2							1
		Global Village Field Experience II	1後	2							1
		インディペンデント・スタディ	3前	2		4	1				7
		海外研修 I (未開講)	2前	4							1
		海外研修 II	2前	4							1
		海外研修 III	3前	2		1					
		日本語フィールドワーク I (日本語の方言)	2前	2		1					
		日本語フィールドワーク II (郷土資料調査)	2後	2		1					
		日本文化フィールドワーク	2前	2			1				
地域連携文化セミナー I	3前	2							3		
地域連携文化セミナー II	3後	2			2	1					
小計(79科目)	-	54	110	0	4	1	0	0	0	28	
関連科目 I	教職	教育原理	2後	2							1
		教育心理学	2前	2							1
		教育社会学	3前	2							1
		教職実践演習(中・高)	4後	2							4
		教育史	3後	2							1
		学習心理学	3前	2							1
		教育と法	3後	2							1
		学芸員	観光学	2前	2						
	市民社会とNGO・NPO		2前	2							1
	世界遺産学		2前	2							4
	西洋服装史		1前	2							1
	日本服装史	1後	2							1	
生活造形論(工芸とデザイン)	1後	2							1		
日本建築史(含住居史)	2前	2							1		
西洋建築史	1後	2							1		
感性デザイン論 I (ポップカルチャー)	1・2前	2							1		
感性デザイン論 II (ファッション文化史)	1・2後	2							1		
服飾美学	2・3後	2							1		
司書・司書教諭	情報メディアの活用	2前	2							1	
	図書館情報技術論	2後	2							1	
	情報サービス論	3前	2							1	
小計(21科目)	-	0	42	0	0	0	0	0	0	20	
関連科目 II	日本語教育	日本語教授法 I	2後		2	1					
		日本語教授法 II	3前		2	1					
		日本語教授法 III	3後		2	1					
	教職	教職論	1後		2						2
		教育課程論	2前		2						2
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2前		2						1
		生徒・進路指導論(進路指導の理論及び方法を含む)	3前		2						1
		特別活動論	3後		2						1
		学校カウンセリング	3前		2						1
		道徳教育指導論	3後		2						1
		介護等体験 I	3通		1						3
		介護等体験 II (事前・事後指導)	3通		1						3
		教育実習 I	4通		2						3
教育実習 II	4通		2						4		
教育実習 III (事前・事後指導)	4通		1						4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
関連科目Ⅱ	学芸員	博物館教育論	1後		2						1
		博物館概論	2前		2						1
		博物館経営論	2後		2						1
		博物館資料論	2前		2						1
		博物館情報・メディア論	2前		2						1
		博物館資料保存論	2後		2						1
		博物館展示論	2後		2						2
		博物館実習Ⅰ	4前		1						3
		博物館実習Ⅱ	4通		2						1
		博物館実習Ⅲ	4後		1						1
		司書・司書教諭	生涯学習論Ⅰ	2前		2					
	図書館概論		1後		2						1
	図書館制度・経営論		3前		2						1
	図書館サービス概論		2前		2						1
	情報サービス演習Ⅰ		3前		1						1
	情報サービス演習Ⅱ		3後		1						1
	図書館情報資源概論		2後		2						1
	情報資源組織論		2前		2						1
	情報資源組織演習Ⅰ		2前		1						1
	情報資源組織演習Ⅱ		2後		1						1
	児童サービス論		2前		2						1
	図書・図書館史	3後		1						1	
図書館サービス特論	3後		1						1		
図書館基礎特論	3前		1						1		
図書館情報資源特論	3前		1						1		
読書と豊かな人間性	2後		2						1		
学校経営と学校図書館	2前		2						1		
学校図書館メディアの構成	2前		2						1		
学習指導と学校図書館	2後		2						1		
小計(44科目)	-	0	0	75	1	0	0	0	0	22	
合計(203科目)	-	74	225	75	4	1	0	0	0	89	
卒業要件及び履修方法											
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修し、専門科目の中から、必修科目を34単位、選択必修科目を18単位、コア科目(計20単位)を必修科目として、残り20単位を専門科目、関連科目Ⅰから選択科目として履修し、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	
関連科目Ⅱ	学芸員	博物館教育論	1後		2						1
		博物館概論	2前		2						1
		博物館経営論	2後		2						1
		博物館資料論	2前		2						1
		博物館情報・メディア論	2前		2						1
		博物館資料保存論	2後		2						1
		博物館展示論	2後		2						2
		博物館実習Ⅰ	4前		1						3
		博物館実習Ⅱ	4通		2						1
		博物館実習Ⅲ	4後		1						1
		司書・司書教諭	生涯学習論Ⅰ	2前		2					
	図書館概論		1後		2						1
	図書館制度・経営論		3前		2						1
	図書館サービス概論		2前		2						1
	情報サービス演習Ⅰ		3前		1						1
	情報サービス演習Ⅱ		3後		1						1
	図書館情報資源概論		2後		2						1
	情報資源組織論		2前		2						1
	情報資源組織演習Ⅰ		2前		1						1
	情報資源組織演習Ⅱ		2後		1						1
	児童サービス論		2前		2						1
	図書・図書館史	3後		1						1	
図書館サービス特論	3後		1						1		
図書館基礎特論	3前		1						1		
図書館情報資源特論	3前		1						1		
読書と豊かな人間性	2後		2						1		
学校経営と学校図書館	2前		2						1		
学校図書館メディアの構成	2前		2						1		
学習指導と学校図書館	2後		2						1		
小計(44科目)	-	0	0	75	1	0	0	0	0	22	
合計(203科目)	-	74	225	75	4	1	0	0	0	89	
卒業要件及び履修方法											
<p>基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修し、専門科目の中から、必修科目を34単位、選択必修科目を18単位、コア科目(計20単位)を必修科目として、残り20単位を専門科目、関連科目Ⅰから選択科目として履修し、合計124単位以上を修得すること。</p> <p>卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。</p>											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	キリスト教学入門Ⅰ	1前	2									1	
	キリスト教学入門Ⅱ	1後	2									1	
	初年次セミナー	1前	2			4	1						
	日本語表現技法	1前	2									3	
	情報リテラシーⅠ	1前	2									3	
	情報リテラシーⅡ	1後	2									3	
	基礎英語Ⅰ	1前	1									2	
	基礎英語Ⅱ	1後	1									2	
	基礎英語Ⅲ	2前	1									2	
	基礎英語Ⅳ	2後	1									2	
	基礎日本語Ⅰ	1前		1								1	
	基礎日本語Ⅱ	1後		1								1	
	基礎日本語Ⅲ <small>(未開講)</small>	2前		1								1	
	基礎日本語Ⅳ <small>(未開講)</small>	2後		1								1	
小計(14科目)	-		16	4	0	4	1	0	0	0		11	
ライフキャリア科目	必修	キャリアプランニング	1前	2			1					1	
		女性とライフキャリア	2前	2				1				6	
	自己との関係科目群	女性史	1前		2								2
		女性とライフスタイル	1後		2								7
		Women in Christianity	1後		2								1
		女性文学の世界Ⅰ <small>(近現代編)</small>	2前		2			1					
		キリスト教と女性	2後		2								1
		Women & the WorldⅠ	2後		2							1	
	他者との関係科目群	対人関係の心理	1前		2								3
		キリスト教と教育	1前		2								1
		Intercultural CommunicationⅠ	1後		2								1
		暮らしを営む食と健康	2前		2								4
		子育てとライフキャリア	2後		2							1	
	社会との関係科目群	World LiteratureⅠ	1前		2								1
		キリスト教と社会	1後		2								1
		ビジネス実務総論Ⅰ	1後		2								1
		ビジネス実務総論Ⅱ	2前		2								1
		ヒロシマと平和	2前		2								1
		ボランティア活動	2前		2								4
		インターンシップ	2前		2								2
		Human Rights in the World	2後		2								1
	Culture StudiesⅠ	2後		2								1	
	その他科目群	ライフキャリア特別講義Ⅰ	1前		2								1
		ライフキャリア特別講義Ⅱ <small>(未開講)</small>	1後		2								1
		ライフキャリア特別セミナーⅠ	1前		2								1
		ライフキャリア特別セミナーⅡ <small>(未開講)</small>	1後		2								1
		オープンセミナーⅠ	1前		1		4	1					
		オープンセミナーⅡ	1前		2		4	1					
		スポーツ科学Ⅰ	1前		1								2
		スポーツ科学Ⅱ	1後		1								2
		日本国憲法	1後		2								1
		外国語(英語Ⅰ)	1前		1								2
		外国語(英語Ⅱ)	1後		1								2
外国語(英語Ⅲ)		2前		1								1	
外国語(英語Ⅳ)		2後		1								1	
外国語(フランス語Ⅰ)		1前		1								1	
外国語(フランス語Ⅱ)		1後		1								1	
外国語(韓国語Ⅰ)		1前		1								1	
外国語(韓国語Ⅱ)		1後		1								1	
外国語(中国語Ⅰ)		1前		1								1	
外国語(中国語Ⅱ)		1後		1								1	
外国語(日本語Ⅰ)		1前		1		1							
外国語(日本語Ⅱ)	1後		1		1								
外国語(日本語Ⅲ)	2前		1								1		
外国語(日本語Ⅳ)	2後		1								1		
小計(45科目)	-		4	69	0	4	1	0	0	0		35	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	人文学入門	1前	2			2						2	
	キャリア・スタディ・プログラムⅠ	1後	2			1	1						
	キャリア・スタディ・プログラムⅡ	2前	2			1							
	キャリア・スタディ・プログラムⅢ	2後	2			1							
	アカデミック・リサーチⅠ	3前	2			4	1						
	アカデミック・リサーチⅡ	3後	2			4	1						
	アカデミック・リサーチⅢ	4前	2			4	1						
	アカデミック・リサーチⅣ	4後	2			4	1						
	卒業論文	4後	4			4	1						
	スキル科目	日本文学講読Ⅰ	1前	2									1
		日本文学講読Ⅱ	1前	2			1						
		日本文学講読Ⅲ	1後	2			1						1
		日本文学講読Ⅳ	1後	2									
		日本語文章読解法	1後	2			1						
		日本を伝える英語Ⅰ	2前	2									2
		日本を伝える英語Ⅱ	2後	2									2
		日本語文章表現法	3前	2			1						1
		日本語コミュニケーション技法Ⅰ	1後	2	2								1
		日本語コミュニケーション技法Ⅱ	2前	2	2								1
		メディアリテラシー	2前	2	2		1						
	文芸創作	2後	2	2		1							
	映画・演劇研究	3前	2	2								1	
	内容科目	古典日本語基礎文法	2前	2			1						
		現代日本語基礎文法	2後	2			1						
		日本文学概論Ⅰ	2前	2			1						
		日本文学概論Ⅱ	2後	2				1					
		日本語学概論Ⅰ(音声言語を含む)	2前	2			1						
		日本語学概論Ⅱ(音声言語を含む)	2後	2			1						
		日本語音声学	2前	2									1
		日本古典文学史	2後	2			1						
		日本近現代文学史	2前	2				1					
		社会言語学Ⅰ	2前	2	2								1
		社会言語学Ⅱ	2前	2	2								1
		言語の獲得	2前	2	2								1
日本語の文字と語彙		1後	2	2		1							
言語とコミュニケーション		2後	2	2								1	
児童文学		3後	2	2				1					
女性文学の世界Ⅱ(古典編)		3前	2	2		1							
日本文化研究Ⅰ		3前	2	2		1							
日本文化研究Ⅱ		3後	2	2		1							
日本文化史Ⅰ		2前	2	2								1	
日本文化史Ⅱ		2後	2	2								1	
漢文学概論Ⅰ		2前	2	2								1	
漢文学概論Ⅱ		2後	2	2								1	
書道Ⅰ		4前	2	2		1						1	
書道Ⅱ		4後	2	2		1						1	
国語科教育入門		1後	2	2		1							
国語教材研究Ⅰ(古文・漢文・現代文)		3前	2	2								1	
国語教材研究Ⅱ(日本語文法・日本語の語彙・日本語の表記)		3後	2	2								1	
国語科授業実践研究Ⅰ(カリキュラム論・授業論・授業観察)		2前	2	2		1							
国語科授業実践研究Ⅱ(国語科音声指導法、国語科文章指導法)	2後	2	2		1								
中学校国語研究(教科書分析)	3前	2	2								1		
高等学校国語研究(教科書分析)	3後	2	2								1		
国語科教育法Ⅰ	3前	2	2		1								
国語科教育法Ⅱ	3後	2	2		1								
国語科教育法Ⅲ	3前	2	2		1								
国語科教育法Ⅳ	3後	2	2		1								



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	展開科目	比較言語学	2後	2								1
		比較文化学 I	2前	2								1
		比較文化学 II	2後	2								1
		日本語教育概論	2前	2								1
		マンガ・アニメーション研究	2前	2								1
		都市と文化財	1後	2								1
		地域と歴史	2後	2								1
		写真映像論	2前	2								1
		多文化共生社会論	1後	2								1
		国際関係論	2前	2								1
		文化人類学	2後	2								1
		Global Village Field Experience I	1前	2								1
		Global Village Field Experience II	1後	2								1
		インディペンデント・スタディ(未開講)	3前	2			4	1				6
		海外研修 I (未開講)	2前	4								1
		海外研修 II	2前	4								1
		海外研修 III	3前	2			1					
		日本語フィールドワーク I (日本語の方言)	2前	2			1					
		日本語フィールドワーク II (郷土資料調査)	2後	2			1					
		日本文化フィールドワーク	2前	2				1				
地域連携文化セミナー I	3前	2								1		
地域連携文化セミナー II	3後	2			2	1						
小計(79科目)	-	54	110	0	4	1	0	0	0	0	28	
関連科目 I	教職	教育原理	2後	2								1
		教育心理学	2前	2								1
		中等特別支援教育	2後	1								1
		教育社会学	3前	2								1
		教職実践演習(中・高)	4後	2								4
		教育史	3後	2								1
		学習心理学	3前	2								1
		教育と法	3後	2								1
	学芸員	観光学	2前	2								1
		市民社会とNGO・NPO	2前	2								1
		世界遺産学	2前	2								4
		西洋服装史	1前	2								1
		日本服装史	1後	2								1
		生活造形論(工芸とデザイン)	1後	2								1
日本建築史(含住居史)	2前	2								1		
西洋建築史	1後	2								1		
感性デザイン論 I (ポップカルチャー)	1・2前	2								1		
感性デザイン論 II (ファッション文化史)	1・2後	2								1		
服飾美学	2・3後	2								1		
司書・司書教諭	情報メディアの活用	2前	2								1	
	図書館情報技術論	2後	2								1	
	情報サービス論	3前	2								1	
小計(22科目)	-	0	43	0	0	0	0	0	0	0	20	
関連科目 II	日本語教育	日本語教授法 I	2後		2	1						
		日本語教授法 II	3前		2	1						
		日本語教授法 III	3後		2	1						
	教職	教職論	1後		2							2
		教育課程論	2前		2							2
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2前		2							1
		生徒・進路指導論(進路指導の理論及び方法を含む)	3前		2							1
		特別活動論	3後		2							1
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3後		2							1
		学校カウンセリング	3前		2							1
		教育相談の理論と方法	3前		2							1
		道徳教育指導論	3後		2							1
		介護等体験 I	3通		1							3
		介護等体験 II (事前・事後指導)	3通		1							3
教育実習 I	4通		2							3		
教育実習 II	4通		2							4		
教育実習 III (事前・事後指導)	4通		1							4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
関連科目Ⅱ	学芸員	博物館教育論	1後		2							1
		博物館概論	2前		2							1
		博物館経営論	2後		2							1
		博物館資料論	2前		2							2
		博物館情報・メディア論	2前		2							1
		博物館資料保存論	2後		2							1
		博物館展示論	2後		2							2
		博物館実習Ⅰ	4前		1							3
		博物館実習Ⅱ	4通		2							1
		博物館実習Ⅲ	4後		1							1
		司書・司書教諭	生涯学習論Ⅰ	2前		2						
	図書館概論		1後		2							1
	図書館制度・経営論		3前		2							1
	図書館サービス概論		2前		2							1
	情報サービス演習Ⅰ		3前		1							1
	情報サービス演習Ⅱ		3後		1							1
	図書館情報資源概論		2後		2							1
	情報資源組織論		2前		2							1
	情報資源組織演習Ⅰ		2前		1							1
	情報資源組織演習Ⅱ		2後		1							1
	児童サービス論		2前		2							1
	図書・図書館史		3後		1							1
	図書館サービス特論	3後		1							1	
図書館基礎特論	3前		1							1		
図書館情報資源特論	3前		1							1		
読書と豊かな人間性	2後		2							1		
学校経営と学校図書館	2前		2							1		
学校図書館メディアの構成	2前		2							1		
学習指導と学校図書館	2後		2							1		
小計(46科目)	-	0	0	79	1	0	0	0	0	0	23	
合計(206科目)	-	74	226	79	4	1	0	0	0	0	93	

卒業要件及び履修方法

基礎科目16単位を必修科目、ライフキャリア科目4単位を必修、12単位を選択必修として計32単位を履修し、専門科目の中から、必修科目を34単位、選択必修科目を18単位、コア科目(計20単位)を必修科目として、残り20単位を専門科目、関連科目Ⅰから選択科目として履修し、合計124単位以上を修得すること。  
卒業要件として修得すべき単位数については、一年間に履修科目として登録することができる単位数の上限を原則として50単位未満とする。ただし、直前学期の成績平均点数(GPA)が2.3未満の者については、当該学期の履修登録上限単位数を22単位とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「基礎英語Ⅱ」の教員の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・分級減のため、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼3」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「日本を伝える英語Ⅰ」「日本を伝える英語Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・「兼担」退職のため、「文芸創作」の教員配置を「専任教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。

【令和元年度】

- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「基礎英語Ⅱ」「基礎英語Ⅳ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「女性とライフキャリア」の教員配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・分級増により、「スポーツ科学Ⅱ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼1」に、「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「日本文学講読Ⅱ」の担当を「准教授」から「教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「日本を伝える英語Ⅰ」「日本を伝える英語Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・「兼担」退職のため、「文芸創作」の教員配置を「専任教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。
- ・教職課程認定申請時の対応により、「教育課程論」の担当を「兼1」から「兼2」に変更。

【令和2年度】

- ・分級増により、「日本語表現技法」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「基礎英語Ⅱ」「基礎英語Ⅳ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「女性とライフキャリア」の教員配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・所属学科の都合により、「女性史」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼2」に、「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「日本文学講読Ⅱ」の担当を「准教授」から「教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「日本を伝える英語Ⅰ」「日本を伝える英語Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・「兼担」退職のため、「文芸創作」の教員配置を「専任教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「インディペンデント・スタディ」の教員配置を「兼7」から「兼6」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。
- ・教育内容の充実を図るため、専門分野の講師のみが担当するため「地域連携文化セミナーⅠ」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教職課程認定申請時の対応により、「教育課程論」の担当を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当講師の都合により、「博物館資料論」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教職課程改正の対応により、「中等特別支援教育」「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」「教育相談の理論と方法」の3科目追加。

【令和3年度】

- ・分級増により、「日本語表現技法」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「情報リテラシーⅠ」「情報リテラシーⅡ」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・分級増により、「基礎英語Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」、「基礎英語Ⅲ」を「兼2」から「兼3」、「基礎英語Ⅳ」を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「女性とライフキャリア」の教員配置を「兼3」から「兼6」に変更。
- ・所属学科の都合により、「女性史」の教員配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・分級減により、「外国語（英語Ⅰ）」「外国語（英語Ⅱ）」の教員配置を「兼5」から「兼2」に、「外国語（英語Ⅲ）」「外国語（英語Ⅳ）」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「日本文学講読Ⅱ」の担当を「准教授」から「教授」に変更。
- ・申請時記載違いにより、「日本を伝える英語Ⅰ」「日本を伝える英語Ⅱ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・「兼担」退職のため、「文芸創作」の教員配置を「専任教授」に変更。
- ・申請時記載違いと担当講師の都合（病気・育短）により、「インディペンデント・スタディ」の教員配置を「兼7」から「兼4」に修正。
- ・申請時記載違いにより、「海外研修Ⅱ」の配当年次を「2後」から「2前」に修正。
- ・教育内容の充実を図るため、専門分野の講師のみが担当するため「地域連携文化セミナーⅠ」の教員配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教職課程認定申請時の対応により、「教育課程論」の担当を「兼1」から「兼2」、「書道Ⅰ・Ⅱ」の「教1」を削除。
- ・教職課程改正の対応により、「中等特別支援教育」「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」「教育相談の理論と方法」の3科目追加。
- ・担当講師の都合（病気）により、「介護等体験Ⅰ・Ⅱ（事前・事後指導）」「教育実習Ⅰ」の教員配置を「兼3」から「兼2」、「教育実習Ⅱ・Ⅲ（事前・事後指導）」を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・免許に応じた分級編成により、「教職実践演習（中・高）」を「兼4」から「兼2」に変更。
- ・担当講師の都合により、「博物館資料論」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	121 科目	44 科目	203 科目	38 科目 [ 0 ]	122 科目 [ 1 ]	46 科目 [ 2 ]	206 科目 [ 3 ]	『教職課程の改正』の対応による科目追加

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	オープンセミナーⅠ	1	1前	一般	選択	新型コロナウイルス感染症の影響で実習等が実施できないため未開講、全て選択科目であることから代替措置は見送る
2	オープンセミナーⅡ	2	1前	一般	選択	
3	Global Village Field ExperienceⅠ	2	1前	専門	選択	
4	Global Village Field ExperienceⅡ	2	1後	専門	選択	
5	海外研修Ⅰ	4	2前	専門	選択	
6	海外研修Ⅱ	4	2前	専門	選択	
7	海外研修Ⅲ	2	3前	専門	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講となった理由は、新型コロナウイルス感染症の影響あるいは、受講生が0人であったことによるものであり、未開講はやむを得ないと考えている。新型コロナウイルス感染症の影響としては、感染予防対策をとることが困難な授業内容や授業形態の科目（海外渡航を含む）について、未開講とした。次年度以降環境が整い次第開講の予定としている。</p> <p>「学生への周知方法」 学内ポータルによる連絡および、科目担当者から学生へ未開講の理由を周知させた。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{7}{203} = \boxed{3.44}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	学生の安全を考慮し、バス停及び待合スペースを確保するためのバス停エリア整備を実施 バス停用地として広島市へ203.00㎡を譲渡(3)			
	校舎敷地	17,731.97 ㎡ <del>18,414.37 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	17,731.97 ㎡ <del>18,414.37 ㎡</del>				
	運動場用地	23,191.93 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	23,191.93 ㎡				
	小計	40,923.90 ㎡ <del>41,606.30 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	40,923.90 ㎡ <del>41,606.30 ㎡</del>				
	その他	161,345.43 ㎡ <del>160,866.03 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	161,345.43 ㎡ <del>160,866.03 ㎡</del>				
	合計	202,269.33 ㎡ <del>202,472.33 ㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	202,269.33 ㎡ <del>202,472.33 ㎡</del>				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	29,882.92 ㎡ ( 29,882.92 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	0 ㎡ ( 0 ㎡)	29,882.92 ㎡ ( 29,882.92 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	書道室追加カット(30) 大学全体			
	23 室	21 室	26 25 室	7 室 (補助職員 0 人)	1 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数						
	人文学部 日本文化学科		5 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	視聴覚資料の増減は数量更正のため(元)蔵書数を定員の按分率で算出(30)  機械・器具 120(109)(108)(107) 大学共通	
	人文学部 日本文化学科	70,746 [16,200] ( 69,437 [16,418] ) ( <del>69,414 [16,355]</del> ) ( 69,194 [16,245] ) ( 68,965 [16,047] ) ( 69,028 [16,061] )	730 [ 87 ] ( 690 [ 81] ) ( 699 [ 81] ) ( 698 [ 81] ) ( 699 [ 81] ) ( 711 [ 85] )	5 [ 0 ] ( 1 [ 0] )	314 ( 414 ) ( 413 ) ( 440 ) ( 310 ) ( 311 )	— ( — )	— ( — )		
	計	70,746 [16,200] ( 69,437 [16,418] ) ( <del>69,414 [16,355]</del> ) ( 69,194 [16,245] ) ( 68,965 [16,047] ) ( 69,028 [16,061] )	730 [ 87 ] ( 690 [ 81] ) ( 699 [ 81] ) ( 698 [ 81] ) ( 699 [ 81] ) ( 711 [ 85] )	5 [ 0 ] ( 1 [ 0] )	314 ( 414 ) ( 413 ) ( 440 ) ( 310 ) ( 311 )	— ( — )	— ( — )		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数						
	5,904.61 ㎡	381	442,500	大学全体					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	908.22 ㎡	テニスコート弓道場				大学全体			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	経費の見積りについては、教員数・学生数による按分率の変更とPC等入替による設備購入費の増額(30)、学長裁量経費による研究費の増額(3)
		教員1人当たり研究費等	150 千円	150 千円	図書購入費	6,099 千円	5,166 千円 <del>6,749 千円</del>	3,520 千円 <del>6,749 千円</del>	
	共同研究費等	1,903 千円 <del>1,964 千円</del>	5,254 千円 <del>1,964 千円</del>	設備購入費	6,349 千円	40,628 千円 <del>7,955 千円</del>	5,120 千円 <del>7,955 千円</del>		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費については、電子ジャーナル・データベース・その他経費(運用コスト)含む。	
		1,310 千円	1,060 千円	1,060 千円	1,060 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、寄付金収入、利息収入、雑収入							届出学部全体

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島女学院大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	105	-	420	-	0.98	0.73	-	平成30	-	
国際英語学科	4	65	-	260	学士(文学)	0.85	0.46	-	平成30	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	
日本文化学科	4	40	-	160	学士(文学)	1.20	1.17	-	平成30	同上	
国際教養学部	4	-	-	-	-	-	-	-	平成24	-	
国際教養学科	4	-	-	-	学士(国際教養学)	-	-	-	平成24	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	平成30年学生募集停止
人間生活学部	4	225	-	900	-	0.96	0.81	-	平成24	-	
生活デザイン学科	4	65	-	260	学士(家政学)	1.22	1.10	-	平成30	広島県広島市東区牛田東四丁目13番1号	
生活デザイン・建築学科	4	-	-	-	学士(家政学)	-	-	-	平成24	同上	平成30年学生募集停止
管理栄養学科	4	70	-	280	学士(家政学)	0.96	0.72	-	平成24	同上	
児童教育学科	4	90	-	360	学士(教育学)	0.78	0.67	-	平成30	同上	
幼児教育心理学科	4	-	-	-	学士(幼児教育心理学)	-	-	-	平成24	同上	平成30年学生募集停止
大学全体	4	330	-	1320	-	0.97	0.79	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、收容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<人文学部 日本文化学科>

- (1) -① 担当教員表
- (1) -② 担当教員表に関する変更内容

※個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
(4)	(1)	(0)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
4	1	0	0	5	0	4	1	0	0	5	0
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{5} = \boxed{40} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	<p>・令和2年度末をもって退職年齢を超える専任教員は2名おり、いずれも令和3年度で退職予定となっている。(30)</p> <p>・令和2年度末をもって退職年齢を迎えた専任教員が2名おり、いずれも今年度で退職予定である。届出申請時に改組の完成年度までの残り1年を延長して雇用することを「学校法人広島女学院規程集第466号 広島女学院就業規則第6章第29条の7第2項」の適用で全学人事委員会(2017.1.23開催)に諮り、理事会にて承認済みである。 よって、令和4年4月より採用する教員2名を公募し、年齢構成に十分な配慮をしつつ採用人事を進めている。(3)</p>	<p>・令和3年度の日本文化学科の教員の年齢構成は、60歳代が2人、50歳代が2人、40歳代が1名となる。今後、教員の採用事案が生じた場合は、学科教員の年齢構成に十分な配慮をしつつ採用することとする。(30)</p> <p>・今年度の教員の年齢構成は、60歳代が2名、50歳代が2名、40歳代が1名であり、この年度末で60歳代の2名が退職となる。 したがって、それぞれの研究分野に留意しつつ、30歳代から40歳代の教員2名の採用人事を実施し、令和4年度を迎える体制を着実に整える。(3)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<人文学部 日本文化学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

学内における教育・研究活動の改善を目指し、教員の教授能力開発等の促進を図るため、2003年度から「ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会」を設置している。教育と研究を基軸に教員の資質開発促進のため、FD・SD研修会の実施や学生による授業評価アンケートの実施と集計・評価等を行っている。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

毎年、年3回（5・10・3月）開催しており、委員会は委員長及び各学科・共通教育部門から選出された委員をもって構成されている。委員が諸事情で参加できない場合は、必ず代理教員を立て情報共有を行っており、職員からも教務課長と事務担当（秘書・広報課員）が陪席している。2018年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔第1回〕：2018. 6. 4 【参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第2回〕：2018. 10. 17 【参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第3回〕：2019. 3. 20 【参加率 100%】

2019年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2019年度〔第1回〕：2019. 6. 19 【参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第2回〕：2019. 10. 23 【参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第3回〕：2020. 3. 9 【参加率 100%】

2020年度の開催状況は以下の通りである。

- ・ 2020年度〔第1回〕：2020. 6. 29 【参加率 100%】※メール審議
- ・ 2020年度〔第2回〕：2020. 10. 7 【参加率 100%】
- ・ 2020年度〔第3回〕：2021. 2. 15 【参加率 100%】※臨時オンライン開催
- ・ 2020年度〔第4回〕：2021. 3. 25 【参加率 100%】※オンライン開催

##### c 委員会の審議事項等

審議事項は、「広島女学院大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程」第7条に委員会の任務として、①教員の資質開発、教授内容・方法の改善、教育評価システム、公開授業等の研究・実施を行い、②その他本学の教育活動の改善に資する活動に関する原則的な事項を検討し、必要な事項は将来計画委員会に諮る、としており、これらに関わる審議を行っている。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 学士課程教育の在り方についての研修会
- ・ 大学教育改革地域フォーラム
- ・ 大学教育の質的転換（H24中教審答申）についての研修会
- ・ 授業方法（アクティブ・ラーニング、遠隔授業、ICTツール等）についての研究・研修会
- ・ 教学改善（シラバス、ルーブリック、カリキュラム・マネジメント、アセスメント等）についての研修会
- ・ 卒業時の質保証についての研修会

- ・ 授業評価アンケートの実施・集計
- ・ 授業改善目標の設定・公開
- ・ 新任教職員のための研修会
- ・ 学生のコミュニケーション力を育むための研修会
- ・ これからの大学入試改革に向けての研修会
- ・ カリキュラムの評価設計と各科目の到達目標の設定（カリキュラム・マネジメントの確立）のための研修会
- ・ 大学を取り巻く環境～教育の質保証と情報公開～のための研修会
- ・ 学生の主体的な学びについての研修会
- ・ GPS-Academic(2019年度までは「大学生基礎力レポート」)からみる本学の特徴と指導についての研修会
- ・ 学外研修会（大学教育学会2020年度課題研究集会等）への参加促進

#### b 実施方法

開催決定時と開催一週間前に、大学ポータルサイトにて開催通知を行っている。また、教員と職員が協働して業務に携われるようにFDとSDを合同開催する研修会では、FD委員長と事務局長の連名で開催通知を行っている。校務等で参加できなかった教職員については、後日、資料の配付を行うこととしている。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

新任教職員のための研修会は、新任式の翌日に開催している。また、各研修会に於いては、事務局から学内ポータルサイトで開催通知を行うとともに、文書による案内も行うようにして積極的な参加を促すようにしている。また、教員の参加状況については学科によって多少の差が生じているが、平均して70%台後半から80%台前半の高い参加率を維持している。2018年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2018. 4. 3 【教員参加率 100%】
- ・ 2018年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2018. 6. 12 【教員参加率 34.5%】
- ・ 2018年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2018. 11. 28 【教員参加率 77.2%】
- ・ 2018年度〔第1回FD研修会〕 : 2018. 12. 27 【教員参加率 73.7%】
- ・ 2018年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2019. 1. 23 【教員参加率 82.5%】

2019年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2019年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2019. 4. 2 【教員参加率 100%】
- ・ 2019年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2019. 6. 5 【教員参加率 85.7%】
- ・ 2019年度〔第1回FD研修会〕 : 2019. 6. 26 【教員参加率 76.8%】
- ・ 2019年度〔第2回FD研修会〕 : 2019. 8. 7 【教員参加率 62.5%】
- ・ 2019年度〔第3回FD研修会〕 : 2019. 9. 17 【教員参加率 62.5%】
- ・ 2019年度〔第1回大学院FD研修会〕 : 2019. 9. 25 【教員参加率 86.1%】
- ・ 2019年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2019. 10. 30 【教員参加率 78.6%】
- ・ 2019年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2019. 11. 20 【教員参加率 78.2%】
- ・ 2019年度〔第4回FD研修会〕 : 2019. 12. 26 【教員参加率 67.3%】
- ・ 2019年度〔第5回FD研修会〕 : 2020. 1. 7 【教員参加率 85.5%】

2020年度の実施状況は以下の通りである。

- ・ 2020年度〔新任FD・SD研修会〕 : 2020. 4. 2 【教員参加率 100%】
- ・ 2020年度〔第1回FD・SD研修会〕 : 2020. 9. 16 【教員参加率 87.3%】
- ・ 2020年度〔第1回FD研修会〕 : 2020. 10. 26 【教員参加率 85.2%】
- ・ 2020年度〔第2回FD・SD研修会〕 : 2020. 12. 18 【教員参加率 81.5%】
- ・ 2020年度〔第2回FD研修会〕 : 2021. 1. 6 【教員参加率 96.3%】
- ・ 2020年度〔第3、4回FD研修会〕 : 2021. 1. 7 【教員参加率 94.4%】
- ・ 2020年度〔第1回大学院FD研修会〕 : 2021. 2. 24 【教員参加率 82.4%】
- ・ 2020年度〔第3回FD・SD研修会〕 : 2021. 3. 10 【教員参加率 98.1%】

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生による授業評価アンケートを実施・集計することで、様々な改善点が浮かんでくることを踏まえ、2014年度からアンケート結果を受けての授業改善目標を立てることを、全専任教員に義務付けている。

2018～2020年度の提出率は退職者と休職者を除き100%であり、アンケート結果と同様にWebに公開している。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

長らく授業評価アンケートを実施しているが、集計等を外部委託としていたことでアンケートが形骸化していると判断し、2015年度からアンケートをWeb実施すると同時に、集計業務も事務担当職員が対応することで問題点や改善点を即時に反映できる体制を整えた。また、学生の声を早期に把握できるよう中間アンケートの実施等についても委員会で検討を行い、2018年度後期から実施している。

2018～2020年度の実施時期と2021年度の実施予定は以下の通りである。

- ・ 2018年度〔前期期末〕： 2018. 7. 12 ～ 2018. 9. 5 【全学回答率 83.4%】  
2018年度〔後期中間〕： 2018. 10. 29 ～ 2018. 11. 4 【全学回答率 48.4%】  
2018年度〔後期期末〕： 2019. 1. 8 ～ 2019. 2. 17 【全学回答率 75.8%】
- ・ 2019年度〔前期中間〕： 2019. 5. 21 ～ 2019. 6. 3 【全学回答率 55.2%】  
2019年度〔前期期末〕： 2019. 7. 16 ～ 2019. 9. 4 【全学回答率 77.5%】  
2019年度〔後期中間〕： 2019. 10. 21 ～ 2019. 11. 3 【全学回答率 50.1%】  
2019年度〔後期期末〕： 2020. 1. 8 ～ 2020. 2. 17 【全学回答率 69.0%】
- ・ 2020年度〔前期期末〕： 2020. 7. 20 ～ 2020. 9. 3 【全学回答率 83.4%】  
2020年度〔後期中間〕： 2020. 10. 20 ～ 2020. 11. 3 【全学回答率 58.9%】  
2020年度〔後期期末〕： 2021. 1. 8 ～ 2021. 2. 14 【全学回答率 72.1%】

※2020年度〔前期中間〕は新型コロナウイルス感染症による遠隔授業が実施され、例年と同様のアンケート環境の確保ができないため中止。

- ・ 2021年度〔前期中間〕： 2021. 5. 14 ～ 2021. 5. 27 (予定)
- 2021年度〔前期期末〕： 2021. 7. 9 ～ 2021. 9. 3 (予定)
- 2021年度〔後期中間〕： 2021. 10. 18 ～ 2021. 10. 29 (予定)
- 2021年度〔後期期末〕： 2022. 1. 7 ～ 2022. 2. 14 (予定)

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

年度の集計結果は、冊子『学生による授業評価アンケート集計結果報告書』にまとめ、FD委員及び関連部署、希望する教職員等に配付し、2020年度からはデータにて結果の共有を行っている。

2014年度から全学・学年別・学科別の集計データを大学ホームページに公開し、一般からも閲覧可能な状態としている。2017年度秋学期からは、学科の学年別の集計データも追加公開とした。

各科目毎の結果については、全科目を大学ポータルサイトに公開しており、教員や学生はいつでも自由に閲覧できる。さらに、2017年度から全専任教員の『授業改善目標』も大学ポータルサイトに公開し、その旨をメールにて学生に周知している。2020年度も公開を実施し、学生への周知も継続して行っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「人文学部」は、本学がこれまで築いてきた幅広い教養と豊かな国際性を身に付け自立した女性の育成を目指すとともに、徹底した少人数教育を行い教育の質の保証を一層強固なものにしていくために設置された。本学部は、本学の教育理念であるキリスト教主義に基づく女子の人格教育を行うにあたり、人文科学に基づく専門的な教育研究を行うとともに、豊かな教養と国際性を身に付け地域及び国際社会に貢献できる力を育成することを目指している。また、将来を見据え、あらゆるライフステージにおいて自己の力を生かしながら、自らの「ライフキャリア」を確立していくための基礎力を身に付けることを目的としている。そのために、以下の取り組みを行った。

#### 1. 入学生確保

改組後の学部学科がスタートする平成30年度入試に向けては、学部学科紹介パンフレットの作成、ホームページ上での新学科の紹介、広島女学院高校との高大連絡会、高校生向け説明会、オープンキャンパスや入試説明会への参加、高校訪問などを通じ、人文学部の教育目標、カリキュラムの特色、アドミッションポリシーの説明を精力的に行ってきた。その結果、入学定員105名に対して343名の志願者を集め、入学者数は135名であった。学科別に見ると、国際英語学科は定員65名に対して235名の志願者を集め、入学者数は89名であり、日本文化学科は定員40名に対して108名の志願者を集め、入学者数は46名であった。

平成31年度入試においては、入学定員管理を念頭に置きつつ活動を行った。その結果、入学定員105名に対して328名の志願者を集め、入学者数は110名であった。学科別に見ると、国際英語学科は定員65名に対して195名の志願者を集め、入学者数は61名となり、日本文化学科は定員40名に対して133名の志願者を集め、入学者数は49名となった。

学部として、今年度も定員を充足できたが、次年度も引き続き、本学の教育理念であるキリスト教主義に基づく人格教育、ならびに、ライフキャリア教育を基盤とする本学部の特色を広く広報し、学部のアドミッションポリシーと合致する入学生の確保に努める必要がある。

令和2年度の入試においては、人文学部入学定員数105名に対して、入学者数は95名であった。学科別に見ると、国際英語学科は入学定員数65名に対し入学者数が44名、日本文化学科は入学定員数40名に対し入学者数が51名であった。日本文化学科が定員を11名上回り、国際英語学科が定員を21名下回る結果となった。国際英語学科については、改組1年目は、入学者数が入学定員数を24名上回っていたが、その後、減少傾向にある。打開策として、国際英語学科は新たにStars Programを立ち上げ、これまで取り組んできた、少人数教育、英語ネイティブ教員の授業、留学プログラム、キャリア支援によりいっそう力を入れるだけでなく、英語力が伸びた学生を表彰し、学生の達成感や満足感をより高めるといった独自の取り組みを始動した。また、両学科ともに授業評価アンケートの結果を受け、授業の質の向上にも継続的に取り組んでいる。令和3年度入試においては、人文学部全体の入学定員充足率100%を目指している。

令和3年度入試においては、人文学部入学定員数105名に対して入学者数は77名であった。学科別に見ると、国際英語学科は入学定員数65名に対して入学者数30名、日本文化学科は入学定員数40名に対して入学者数47名であった。人文学部全体としての入学定員充足率は約73%となり、昨年度の約90%を大きく下回る結果となった。充足率低下の要因の一つには、コロナ禍で国際英語学科の売りの一つである海外研修、海外留学が中止に追い込まれたことがあげられる。先の見えない現状の中、海外研修、海外留学に依存せず、他の取り組みをいっそうアピールすることで定員確保につなげていきたい。

#### 2. 新入生オリエンテーション

4月に授業開始前のオリエンテーションを行い、学科プログラムやチューター面談を通して、新入生に教育目標、カリキュラムの特色、授業の履修方法について説明を行った。

#### 3. ライフキャリア教育

ライフキャリア教育の基盤をなすライフキャリア科目群中の「キャリアプランニング」（1年前期必修）において、キャリアプランニングの目的を理解し、大学で学ぶということについて考えた。また、この他、全学全学科から提供される、ライフキャリア選択科目も配置し、所属学部の専門領域を超え、より広い視野から自身のライフキャリアについて考える機会を提供した。

#### 4. 初年次教育

3で取り上げた「キャリアプランニング」に加え、1年前期の必修科目として①大学における主体的な学びのスキルを身に付ける「初年次セミナー」、②キリスト教主義に基づく人格教育を行う「キリスト教学入門Ⅰ」、③日本語、英語の4技能やITスキルを高める「日本語表現技法」「情報リテラシーⅠ」「基礎英語Ⅰ」④人文科学という学問分野についての理解を深める「人文科学入門」を配置した。また、これらのうち、「基礎英語Ⅰ」は、学生の能力、レベルに応じた、少人数のきめ細かな教育を実践するために、プレースメントテストの結果にもとづき、国際英語学科は1クラス10名程度、日本文化学科は1クラス20名程度のクラス編成とした。いずれのクラスも英語ネイティブの教員が担当している。

なお、令和3年度の「基礎英語Ⅰ」においては、全学共通科目であるという点から、国際英語学科においても他学科と同じく1分級あたりの受講者数を約15名とした。

### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表（予定）時期

- ・令和3年7月30日 『自己点検・評価に関する報告書』を公表（予定）

#### b 公表方法

- ・大学ホームページ上



③ 認証評価を受ける計画

- ・平成30年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価審査を受審
- ・平成31年3月 大学評価結果『適合』を受領
- ・令和7年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価審査を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他（ ） ]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。